

令和元年度第3回 野々市市創生総合戦略推進会議 会議録（要約）

日 時

令和2年2月17日（月） 14時から

場 所

庁舎2階 201会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 第2期ののいち創生総合戦略（案）について 【資料1】

3 委員からのご意見等

4 閉 会

出席委員

石川 憲一 会長

飯田 秀昭 委員

鴨宮 隆史 委員

狩谷 満春 委員

絹川 博 委員

富山 祐輔 氏（小西 利之 委員の代理）

澤村 昭子 委員

新谷 嘉貴 委員

西村 一正 委員

藤田 雅顯 委員

欠席委員

榎本 俊樹 副会長

田中 英男 委員

<p>司会 (開会)</p>	<p>定刻となりましたので、ただ今より、令和元年度第3回野々市市創生総合戦略推進会議を開催いたします。</p> <p>本日は、皆様方には、大変ご多用のところ、ご出席くださいまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会進行を担当させていただきます、企画課長の木戸口でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>初めに、本日の会議ですが現在10人の委員の方が出席でございます。従いまして、野々市市創生総合戦略推進会議設置要綱 第6条第2項の規定により、委員12人のうち半数以上の出席がありますので、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、これまでの会議と同様、会議録を作成するため、本日の会議の内容を録音させていただきたいと思っております。委員の皆様におかれましては、発言される際には、マイクを使用させていただきますよう、お願いいたします。</p> <p>続いて、本日の会議資料を確認させていただきます。</p> <p>送付させていただいたA4サイズの冊子で資料番号1番とA3サイズの資料が資料番号1-1から1-4までと、本日皆様のお手元に配布させていただきましたA3サイズの参考資料1と2、そしてA4サイズの今後のスケジュールがございます。</p> <p>皆様よろしいでしょうか。</p>
<p>司会 (市長あいさつ)</p>	<p>それでは会議の開催にあたりまして、野々市市長 栗 貴章 より、委員の皆様にごあいさつを申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>委員の皆様、本日は大変ご多用のところ、野々市市創生総合戦略推進会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、第1回及び第2回の会議におきましても、本市の将来について熱心なご議論をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。本日の会議が、本年度最後の会議となりますので、一言お礼のご挨拶をさせていただきます。</p> <p>平成27年に「ののいち創生総合戦略」を策定してから5年が経過いたしました。この間、総合戦略に掲げた施策を着実に推進して参りましたとともに、地方創生推進交付金を活用した「北国街道にぎわい創出プ</p>

	<p>プロジェクト」や、地方創生応援税制、いわゆる企業版ふるさと納税にも取り組んで参りました。</p> <p>それぞれの取り組みにつきましては、市民や企業、関係団体の皆様にご協力、ご参画をいただきながら推進することができました。委員の皆様へは、毎年、取り組み状況をご報告させていただき、効果を検証いただくとともにご意見を賜ってまいりました。数値目標を達成することももちろん重要ですが、このように「ののいち創生」の実現に向けて、多くの皆様とともに取り組んでくることができたこと自体が非常に有意義であったと思っております。</p> <p>今、国を挙げて地方創生の取り組みが進められていますが、人口減少や少子高齢化など、地方の創生は、一朝一夕で解決しうる問題ではございません。複雑な要因が背景にあり、様々なアプローチ方法が考えられます。「第2期のののいち創生総合戦略」につきましては、各界代表の皆様にご参画いただき、しっかりとご審議をいただきながら策定することが重要であり、また、策定した暁には、これまで同様、市民や企業、関係団体の皆様とともに取り組んで参りたいと思っております。策定後も、本市の創生に取り組むにあたりまして、野々市市の未来をつくるアイデアやご提案がございましたら、このような会議形式でなくても、どんどんお寄せいただきたいと思っておりますし、また、野々市市の創生を切り口に、各分野におきまして、今までになかった新しいつながりが生まれれば非常にありがたいと思っておりますのでございます。</p> <p>終わりに、「第2期のののいち創生総合戦略」の策定へのご協力に、改めて感謝を申し上げますとともに、本日も忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。</p>
<p>司会 (会長あいさつ)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、石川会長よりごあいさつをお願いしたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
<p>石川会長</p>	<p>金沢工業大学の石川でございます。委員の皆様のご協力をいただきながら、会議を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、今年度の総合戦略推進会議も、今回が最後となります。第1回</p>

	<p>の会議では、現行の「ののいち創生総合戦略」の推進状況を確認するとともに、第2期「ののいち創生総合戦略」の策定方針について審議いたしました。第2回の会議では、市の人口や産業構造の現状から将来の姿を展望した「ののいち創生長期ビジョン」の内容について、ご意見をいただきました。これらを踏まえ、国が示す新たな視点を盛り込むとともに、既存の施策を見直し、第2期「ののいち創生総合戦略」(案)をまとめました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、本市の持続可能な未来をつくっていくための中長期的な展望でありますこの戦略(案)につきまして、率直なご意見をいただきますことをお願いいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。市長は、次の公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。</p> <p>それでは野々市市創生総合戦略推進会議設置要綱 第6条第1項の規定により、会長が会議の議長となることと定めておりますので、この後の進行につきましては、石川会長にお願いしたいと思います。</p>
石川会長	<p>早速ではございますが、議事1番の「第2期のののいち創生総合戦略(案)について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (説明)	<p>【資料1 第2期のののいち創生総合戦略(案)について】</p> <p>第2期のののいち創生総合戦略(案)の資料説明の前に、令和元年12月3日に開催いたしました、第2回野々市市創生総合戦略推進会議の振り返りをさせていただきます。本日、机の上に、参考資料1と2をお配りしておりますが、第2回会議の資料を抜粋したものです。</p> <p>参考資料1「第2期「ののいち創生総合戦略」の策定について」</p> <p>まず、2. スケジュールですが、左手、青い部分ですが、国のスケジュールでして、右手、オレンジの部分野々市市のスケジュールとなっております。スケジュールの一番下の野々市市のスケジュールですが、国より、令和元年6月に次期「地方版総合戦略」の策定を進めるよう通知があり、第2期のののいち創生総合戦略を2020年(令和2年)3月に策定することとしました。</p>

策定にあたり、第2期ののいち創生長期ビジョンは「人口ビジョン」と「産業ビジョン」を更新し、更新した長期ビジョンを踏まえ、「しごと」を主軸とした「まち」と「ひと」の好循環をめざすこととします。この第2期ののいち創生総合戦略は、現行の総合戦略の効果検証を踏まえ、基本目標、3つの基本戦略を維持しつつ、国が示す新たな6つの視点を反映させた上で改訂し、策定することを説明させていただきました。資料右手の3において、策定の流れを掲載しております。赤丸の第2期ののいち創生長期ビジョンの案について、前回の会議で本日配布した参考資料2を用いて説明させていただきました。

参考資料2「第2期ののいち創生長期ビジョン(案)概要」

現状の整理として、人口について考察した人口ビジョンと産業構造について分析した産業ビジョンの課題を①から⑥でまとめています。これまで当市の人口は増加してきましたが、2016年に転入数より転出数が上回る社会減となるなど、社会増が鈍化したこと、出生数は緩やかに減少し、死亡数は老年人口の増加に伴い増加しているため、自然増も小さくなっていること、主力の産業は第3次産業であり、人口に影響を受けるという課題があります。また、人口に影響の受けない産業を創出する必要があるということ、めざすべき人口とバランスの取れた人口構造を維持するため、基幹産業になり得る産業や、けん引する人材を増やすことで、産業を育成し、地域経済を活性化させる必要があります。このことから、目標を「暮らしやすいまち」としての魅力を高め、「選ばれるまち」をめざす。また、次世代産業を創出して雇用を守り、定住化や出生率の向上などの施策を充実することで、めざすべき人口とバランスの取れた人口構造を保持する。とし、そのために3つの将来の方向性を掲げます。

方向性1は、「すべての市民がいきいきと暮らし・活躍できる、安心して結婚・出産・子育てできる魅力あるまちづくり」であり、ここでは、移住・定住、少子化対策、関係人口の取り組みが必要としています。

方向性2は、「野々市の発展と市民の生活を向上させる新産業の創出」であり、ここでは、新しい産業の創出、多様な働き方を選べる環境整備が重要としています。

方向性3は、「市民・広域・関係機関などとの連携によるまちの基盤充実」であり、ここでは、近隣自治体等との連携、大学などの関係機関と

の連携など、ひとつづくりを進めていくことが重要としています。

ここまでが、前回、第2回会議の振り返りです。

参考資料1による策定方針や総合戦略の基礎資料となる参考資料2の更新した長期ビジョン、また、現行の「ののいち創生総合戦略」の効果検証により策定いたしました総合戦略（案）が、資料1の「第2期のののいち創生総合戦略（案）」でございます。資料1の「第2期のののいち創生総合戦略（案）」の説明につきましては、資料1-1から資料1-4でさせていただきます。

【資料1-1 第2期のののいち創生総合戦略（案）概要】

「第2期のののいち創生総合戦略（案）」の概要であります。基本方針は、「しごと」を主軸とした、「まち」と「ひと」の好循環をめざすとしております。「しごと」が「ひと」を呼び、「まち」を魅力的なものとし、さらに「ひと」が集まり、「まち」に活力が生み出されるという好循環を確立することで、「暮らしやすいまち」といしての魅力を高め、「選ばれるまち」を創り出すものです。

現行の「ののいち創生総合戦略」は「しごと」と「ひと」が連携することで相乗効果が生まれ、「まち」はそれを下支えするという体系でありましたが、第2期の総合戦略（案）の策定にあたり、国が示す6つの新たな視点を反映させています。この新たな視点には、「しごと」につながる要素が多いことから、「しごと」を主軸とし、関係人口の創出、拡大などから「まち」と「ひと」の好循環が生まれるものです。体系図は右下のとおりで、「しごと」を主軸に、「まち」と「ひと」の好循環を表しています。

基本目標は、「選ばれる“まち”をめざして」であり、現行の「ののいち創生総合戦略」から引き続き基本目標としています。

基本戦略1は、まち・ひと・しごとの「しごと」にあたり、基本戦略2は「ひと」、基本戦略3は「まち」にあたります。各施策や施策概要は資料1-2以降で説明をさせていただきます。

【資料1-2 第2期のののいち創生総合戦略（案）体系図】

左から「基本目標」「基本戦略」「施策」「施策概要」を掲載しています。

さらには、一番右に「関連するSDGsの開発目標のマーク」を掲載しております。SDGsは、国連で採択された持続可能な開発目標であり、「誰一人取り残さない」社会の実現を理念としており、この理念を踏まえ、総合戦略の施策に展開していくことから、「第2期ののいち創生総合戦略」において、施策ごとに関連の深いSDGsの目標を整理し、関係性を見える化しています。

【資料1-3 施策概要新旧対照表】

左が現行の「のいち創生総合戦略」の施策概要であり、各施策概要を強化、整理、統合し、国が示す新たな視点を反映させたものが、右手の「第2期ののいち創生総合戦略」の施策概要となります。

第2期の施策概要の赤字で記載した、新しく追加した施策や第1期から変更した施策、名称の変更などを行った施策に絞ってご説明させていただきます。

次世代産業の育成や支援にあたる第1期の1-1-1から1-1-3において、人材育成の部分については、国の新たな視点である人材を育て活かすという視点から、第2期の1-1-3に「人材の確保と育成」を新たに設定して進めてまいります。

次世代産業の支援の部分については、起業や創業の支援は、野々市市商工会、日本政策金融公庫金沢支店、地域金融機関と連携して「野々市市創業支援ネットワーク」を結成し、地域一体となった創業支援体制を構築いたしましたので、起業や創業を含めた次世代産業の創出と育成を強化するため、第2期の1-1-1に統合して推進してまいります。

企業移転促進、誘致促進にあたる第1期の1-1-4と1-1-5ですが、本社機能施設立地促進補助金制度、企業立地促進助成金制度を創設いたしましたので、企業立地促進を強化するため、第2期の1-1-2にまとめております。

第1期の1-2-3 中心市街地の活性化は、旧北国街道を中心とした地域の賑わいを創出するため「学びの杜ののいちカレード」と「にぎわいの里ののいちカミーノ」を整備するものです。この2つの拠点の整備が完了したため、1-2-4の地域産業の活性化に向けた新たなしごとの創出と合わせ、まちに賑わいをもたらす魅力的な個店づくりなどの支援策の研究を行う、第2期の1-2-3の地域産業の新陳代謝促進と活

性化として進めてまいります。

第2期の1-2-4新しい技術を活用した生産性向上は、Society5.0の実現に向けた技術活用のため新設したものです。

第1期の2-1-2女性の雇用の確保、2-1-3高齢者の就労支援や技能の活用、2-2-4新時代の働き方の支援は、それぞれ取り組みが似通っていることもあり、統合して取り組みを強化するため、第2期の2-1-2女性や高齢者等が活躍する場の拡大としてワークライフバランスを考慮し推進してまいります。

第2期の2-2-2学びの環境充実は、野々市らしい暮らしの実現のため、子どもを安心して生み育てられることが重要でありますことから、プログラミング教育、外国語教育などの質の高い学習支援の充実のために、第1期の3-3-4大学と連携した小中学生の特色ある教育の推進を加え、新設したものです。

次に、国はスポーツを通じて健康増進することが重要であるとしており、疾病・介護予防や健康増進に向けた取り組みを発展させていますことから、健康寿命の延伸のため、2-3-3生活のための健康維持を新設しています。

第1期の2-2-3広域連携の視点と大学生の石川中央都市圏での就業は、金沢大学を主とする地（知）の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)としていしかわ学生定着推進協議会が、大学生の県内就職率を10%向上させることを推進しているもので、計画期間が令和元年度で終了することから、2-2-2の若年層の雇用確保による定住促進に、県内就職率向上の視点を盛り込み、第2期の2-3-1で新たな若年層の雇用確保による定住促進として進めてまいります。

次に、国は一人一人の多様な社会参加と地域社会の持続の両方を実現する「地域共生社会」をめざしており、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、第2期の2-3-2良好な住まいの創出を新設いたしました。

第2期の3-3-3関係人口の創出・拡大ですが、国が示す新たな視点にも、この要素はあり、地域課題の解決や将来的な移住、定住に至らないものの、特定の地域に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出拡大に取り組むことから新設をしています。第1期3-3-3野々市市出身者コミュニティの強化を加え、推進してまいります。

第2期の3-4-1は、連携中枢都市圏の形成がなされているため、名称を変更したものです。

【資料1-4 施策の展開】

資料1-4の施策の展開は、基本戦略1から3の詳細となります。

基本戦略1 しごとを創る（野々市らしい産業の創出）

基本戦略1しごとを創るの概要・目的は、人口規模に影響を受けやすい第3次産業が主となっていることから、大学などの研究機関が集積している当市の強みを生かした新しい産業を創出、育成するとしております。基本戦略1に関連する国が示す新たな視点は、6つの視点のうち4つの視点を反映させております。基本戦略の方向性となる施策は、基本戦略1には2つ設定しております。

「施策1-1 次代を担う産業の創出」ですが、発展が見込める新たな産業の芽の創出と、その産業の担い手の育成に取り組むこととしております。施策概要「1 次世代産業の創出と育成」ですが、次代を担う産業を興そうとする担い手の発掘に努め、次代を担う産業が創出されやすい環境をめざします。具体的取り組みとして、右手に掲載しておりますが、創業支援セミナー、創業相談、経営相談などを展開してまいります。施策概要「2 市内への企業立地の促進」ですが、市内への企業立地及び本社機能の移転を促してまいります。具体的取り組みとして、本社機能移転等の推進、研究機関等誘致の推進などを進めてまいります。施策概要「3 人材の確保と育成」ですが、若者や女性の起業家や創業希望者に対し、人的・技術的・経済的支援を行います。具体的取り組みとして、女性、学生への創業支援などを行います。

「施策1-2 地域産業の再生と強化」ですが、地域産業の新陳代謝を促す創業支援や事業承継支援などを通して、地域産業の強化と再生に取り組むこととしております。施策概要「1 6次産業化支援と特産品のブランドの育成」ですが、高機能性農産物の開発・育成・市場化を進め、ブランド化を推進してまいります。具体的取り組みとして、6次産業化推進事業などを進めてまいります。施策概要「2 観光の活性化等を通じた交流人口の増加」ですが、野々市ブランドの開発、PRを行い、ま

た、観光ボランティアの育成などにより交流人口の増加に努めます。具体的取り組みとして、野々市ブランド認定制度、シティプロモーションなどを進めてまいります。施策概要「3 地域産業の新陳代謝促進と活性化」ですが、空き家や空き店舗を活用して、起業・創業する場合の支援策を研究し、地域産業の新陳代謝を促進します。具体的取り組みとして、創業支援、市街地賑わい再生支援事業などを進めてまいります。施策概要「4 新しい技術を活用した生産性向上」ですが、Society5.0の実現に向けて、ニーズに応じた支援策の検討を行います。具体的取り組みとして、先端設備等の導入を展開してまいります。

基本戦略2 ひとの流れを創る（安心して暮らせる環境づくり）

基本戦略2ひとの流れを創るの概要、目的は、ひとの交流を盛んにしながら、多様な働き方の促進や暮らしの充実などを通じて安心して暮らし続けられる環境を構築することで、子育て世代の定住化を促進し、また、移住志向を高めバランスのとれた人口構造をめざし、市の安定的な成長につなげることにしています。基本戦略2に関連する国が示す新たな視点は、3つの視点を反映させています。基本戦略の方向性となる施策は、基本戦略2には3つ設定しています。

「施策2-1 多様な働き方の確立」ですが、個々人が、自分のライフステージや生き方にあわせて働き方を選ぶことができる地域をめざすことにしています。施策概要「1 ワーク・ライフ・バランスの促進」ですが、家庭における時間を持ちながら働けるよう、事業所等に対する啓発活動に取り組みます。具体的取り組みとして、新しい働き方の応援などを進めてまいります。施策概要「2 女性・高齢者等が活躍する場の拡大」ですが、女性の働きたいという希望の支援を実施し、高齢者が地域活躍する環境の構築をめざします。具体的取り組みとして、女性や高齢者等の雇用創出などを進めてまいります。

「施策2-2 野々市らしい暮らしの実現」ですが、子育て支援、教育、健康づくり、介護予防等へのニーズに応え、暮らしやすい環境のさらなる充実をめざすものです。施策概要「1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」ですが、妊婦や親子が気軽に集える拠点を整備し、相談機能を強化することで結婚、妊娠期から出産、子育て期にわたる切

れ目のない支援を充実します。具体的取り組みとして、不妊治療、産後ケア事業、子育て支援医療費助成事業などに取り組んでまいります。施策概要「2 学びの環境の充実」ですが、大学の教員や大学院生を講師とし、体験学習や地域教育、将来のしごとに対する考え方などへの教育を実践します。具体的取り組みとして、子どもの学習支援、情報モラル教育などを展開してまいります。施策概要「3 生活のための健康維持」スポーツを通じた健康増進などの取り組みを推進し、老人福祉センター椿荘などを活用した生きがいつくりや仲間づくりに取り組みます。具体的取り組みとして、スポーツによる健康づくり、食育の推進などを進めてまいります。

「施策2-3 移住・定住の促進」ですが、移住・定住を促進することで、バランスのとれた人口構造をめざすものです。施策概要「1 若年層の雇用確保による定住促進」ですが、優秀な若者の就業支援をおこないません。具体的取り組みとして、若年者雇用促進事業などを進めてまいります。施策概要「2 良好な住まいの創出」ですが、住み慣れた地域で住み替えできるよう、良好な住まいの情報配信を推進します。具体的取り組みとして、空き家バンク登録事業などを進めてまいります。

基本戦略3 魅力的なまちを創る（地域・広域連携によるまちづくり）

基本戦略3 魅力的なまちを創るの概要、目的は、産業・都市インフラ等の分野で広域連携を推進しながら、近隣自治体とともに本市の維持・発展をめざすこととしております。基本戦略3に関連する国が示す新たな視点は、3つの視点を反映させております。基本戦略の方向性となる施策は、基本戦略3には4つ設定しております。

「施策3-1 生活基盤の維持と発展」ですが、利便性の高い交通網、サービスの質が高い公共施設、憩いの場となる公園等を充実し、マネジメントを強化することとしております。施策概要「1 暮らしやすい住環境づくり」ですが、計画的な市街地整備と市内の道路環境の向上を推進します。また、暮らしやすい住環境を整備し、定住者の増加をめざします。具体的取り組みとして、土地区画整理事業などを進めてまいります。施策概要「2 地域公共交通の利用促進」ですが、公共交通機関とコミュニティバスの連携を図り、利用者の利便性向上に努めます。具体

的取り組みとして、広域的な公共交通網の強化などに取り組んでまいります。施策概要「3 地域交流・地域支え合いの拠点の形成」ですが、多世代交流の場や、福祉の拠点を整備し、地域支え合いの強化に取り組めます。具体的取り組みとして、地域サロン支援などに取り組んでまいります。

「施策3-2 安心な暮らしの確保」ですが、地縁コミュニティ、テーマ型コミュニティ等の様々交流を支える拠点づくりや、地域の人々同士のつながり強化を推進することとしています。施策概要「1 高齢者が安心して暮らせる地域の構築」ですが、拠点の整備や地域包括ケアを推進し、総合的な支援を充実します。具体的取り組みとして、認知症総合支援、地域包括支援などを進めてまいります。施策概要「2 人口減少に対応した地域組織の充実強化」ですが、自主防災組織の活動を支援し、また、地域防災リーダーの育成を推進します。具体的取り組みとして、地域防災リーダー育成などを進めてまいります。

「施策3-3 ふるさとづくりの推進」ですが、情報発信を強化するとともに、市民協働のまちづくりや、関係人口とのつながり強化を推進することとしています。施策概要「1 ふるさと野々市に対する愛着や誇りを高めるための情報発信」ですが、情報発信を行うとともに、本市と地域に対する愛着や誇りの醸成に努めます。具体的取り組みとして、SNSを活用した情報発信などを進めてまいります。施策概要「2 市民と地域との絆の構築」ですが、大学と連携し、学生と地域のつながりを強化し、学生の学びと成長を支援します。市民のまちづくり活動や市民協働モデル事業を推進します。また、人材や団体の育成を推進します。具体的取り組みとして、市民活動センターの活用などを進めてまいります。施策概要「3 関係人口の創出・拡大」ですが、市内大学出身者コミュニティのつながりを強化するとともに、産業振興における連携に結びつけます。具体的取り組みとして、ふるさと交流会の充実、ふるさと納税の活用などを進めてまいります。

「施策3-4 石川中央都市圏等の発展」ですが、石川中央都市圏に属する自治体と連携するとともに、市内外の高等教育機関との連携により、高等教育機関が持つ貴重な知識や技術等を地域へ還元しながら広域的な創生に寄与することとしております。施策概要「1 石川中央都市圏等の推進」ですが、産業振興、生活関連サービス、移住促進などの広

	<p>域連携施策を推進します。具体的取り組みとして、石川中央都市圏の連携推進、大学連携の推進などに取り組んでまいります。</p> <p>第2期ののいち創生総合戦略（案）についての説明は以上であります。</p> <p>ただ今の、事務局からの説明に、ご意見やご質問などはございませんか。</p> <p>資料に関してですが、内容は立派に書かれていると思いますが、文字送りを整えていただければと思いました。この内容は、次の総合計画に向けての方向性となるものではないかと思っておりますので、推進していただければありがたいと思います。</p> <p>また、「市民協働のまちづくり」は、市長もおっしゃるように私どもの大きなテーマで、これまで10年以上続けてまいりました。今後は、さらに具体性を伴うべき時期に入ろうかと思っております。今後も皆様のお力をお借りして、まちづくりを推進されることを期待したいと思います。</p> <p>戦略はこれから5年間の内容となっておりますことから、市として5年間かけてこれらを確実に推進していくというお考え、決意のほどを示されたわけでございます。</p> <p>先ほど女性と高齢者の雇用の創出に力を入れていきますというご説明がありました。雇用と就職率が上がったとしても、内容が伴っていることが重要だと思います。高齢者の場合は、年金プラスアルファという働き方をする人が多いかとも思いますが、女性の場合は、最近はひとり親の女性もかなり増えておりますので、非正規雇用ではなく、正規職員としての雇用に力を入れていただきたいと思っております。</p> <p>また、1つお聞きしたいことがあります。保育園に、何年も前に辞められた園長先生が週に何回か働いていることもあると思います。このような仕事が継続して存在するようであれば、職員をあてるべきだと思います。市民の中には、保育士の資格を持ってる人は、たくさんいるはずなのに、その人はどうして出てこないのでしょうか。これはお金の面などの条件もあると思いますが、その辺の見直しが必要ではないかと思</p>
--	---

肥田健康福祉部長	<p>ます。</p> <p>女性が働く上で、子どもを預けたいということになれば、保育の受け皿を確保することは大切な課題と思っています。その保育の現場を支えてくださる保育士の確保も重要な課題です。短大の卒業生や保育の専門学校卒業生などに向け、学校現場にも足しげく通い、ハローワークなどにもお声をかけし、保育士の確保には一生懸命努めておりますが、なかなか条件が合わないような現状がございます。そのような中でも、保育の待機ゼロということに、市として取り組んでいるところで、今後も保育士の確保に努めていきたいと考えております。</p>
絹川委員	<p>新聞の方に出ていましたけども、新しい保育所の開設が決まったということで、本当にありがとうございます。今お話が出たように、保育士が不足されているということで、なかなか立候補が少なかったのかなとも思います。</p> <p>保育園ができて良かったわけですが、内容を密にさせていただくことも重要です。これからの野々市市の出生数を考えますと、減っていくことが想定されるため、増やした施設が将来的に余ってくることもあるのかなと思いました。そのあたりはどうでしょうか。</p>
肥田健康福祉部長	<p>子ども・子育て会議の中では、保育のニーズがどれくらいあるのか、出生数がどういうふうに伸びていくのか、そういうことも勘案させていただきながら、新たな保育園の受け皿が、どうしても今の野々市市には必要であるということをご理解いただき、皆様のご承認をいただいた上で、令和3年4月を目途に新たな園の開設に踏み切ったところでございます。</p> <p>野々市市の現状としては、もうしばらく人口の増加、出生数の伸びも続くことが想定されています。今後出生数が減少する傾向になった時には、全体的な利用人数を把握した上で、公立の保育園を調整の園として考えていきたいと思っております。</p>
狩谷委員	<p>ハローワークの狩谷です。資料1、2の施策の項目を見ますと、雇用に関するものが結構含まれています。バランスの良い項目立てになって</p>

	<p>いると思いますが、戦略は市の最上位の計画と認識しており、そうであるならば、「女性や高齢者等が活躍する」という項目の中に入っているのかもしれませんが、障害者に関する記載が入っていた方が良いと感じました。私自身の認識としては、野々市市さんは、障害者の方に対して、積極的に取り組んでいる自治体であると捉えています。福祉の協議会等で、取り上げてらっしゃるのかもしれませんが、戦略の中に記載しても良いと感じました。</p>
<p>事務局 (木戸口課長)</p>	<p>障害者の雇用につきましては、高齢者、女性「等」に含めています。細かい内容は検討中ですが、新たな雇用の拡大、職場環境の改善、就労支援といったものについて取り組んでいきたいと考えているところでございます。</p>
<p>山口総務部長</p>	<p>少し補足をさせていただきます。市の最上位の計画としては総合計画というものがあります。これを踏まえた上で、この戦略をつくっております。総合計画では、障害のある方への施策の方向性も示した計画となっております。</p>
<p>狩谷委員</p>	<p>ありがとうございます。「等」の中に障害者の方が含まれると理解はしましたけれども、可能であれば目出した方が良いのかなと感じます。計画策定の手順など、色々あるでしょうから、可能であればということで、発言させていただきました。</p>
<p>北企画振興部長</p>	<p>今のご意見を反映しながら、障害者という言葉を表現する方向で調整したいと考えております。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>今、お話のありました、市の最上位の計画である総合計画は令和3年度で最終年度を迎える一方で、戦略は今年度が最終年度となり、戦略を先行して策定しているかたちになっています。最上位の計画である総合計画を策定してから、戦略を含め、他の計画を策定していく流れではないことは共有した方が良いと思います。それぞれの計画の施策の整合性については、市がちゃんと想定していると思いますので、ご理解いただければと思います。よろしくお願い致します。</p>

石川会長	<p>計画の策定につきまして補足の説明をいただきまして、ありがとうございました。</p>
飯田委員	<p>野々市市さんは6次産業化にとっても協力していただいておりますので、ありがたいと思っています。この資料についても、きちんと網羅してあると思いますので、特段付け加えることはございません。</p> <p>表現が難しいのですが、企業の立地や産業の創出という取り組みがありますが、なかなかこの土地の限られた中で、本社機能とか企業誘致というのは難しいのかもしれない。資料には移住の取り組みも記載がありましたので、市民がここに住んで良かったというようなまちづくりを進めていただきたいというのが希望でございます。</p>
北企画振興部長	<p>野々市農協さんとも連携を深めながら、6次産業化を推進していければと考えております。</p>
新谷委員	<p>創業に関してですが、私共も何件か支援させていただいている中で、野々市市の方が近隣市町で創業されるということがあります。お聞きしたところによると、シェアキッチンをお使いになられた方が、創業される時にも近隣市町を選んだということもあるようです。創業される方が増えるのは良い事だと思いますが、せつかくであれば野々市市で創業していただけるようになると良いと思います。例えば、一定期間の賃料を助成するとか、野々市市での創業が増える支援があれば良いと思っています。</p> <p>取り組みでは、スポーツが出てきて、大変良い事だと思います。私も子育て中で、子どもが成長していく中でスポーツは重要だと思いますが、休みの日に子どもと屋外スポーツ、例えばサッカーをしに行く場所としては、近隣自治体行くことも多いのではないのでしょうか。せつかく子どもさんがたくさんおいでなのに、野々市市にそういう場所が少ないというところもあると思っています。そのような多目的屋外施設があれば、世代間の交流ですとか、色んなところに活用ができるのではと感じています。</p> <p>最後に、前回もお話させていただきましたが、私どもの店舗は北国街道にあります。市が喜多家住宅を取得されるということで、平常のひ</p>

<p>北企画振興部長</p>	<p>との流れをつくっていくことが重要だと思っています。私どもの店舗も、金沢工業大学の学生さんのプロジェクションマッピングに使っていただいたり、色々とイベントにも参加させていただいております。ひとの流れをつくっていくということの中で、積極的に私どもの店舗を是非活用していただければと思います。</p> <p>シェアオフィス並びにシェアキッチンですが、確かに実績といたしましても他の市町で創業された方もおいでますが、野々市市で開業するというような事例も1件出てきております。</p> <p>また、市内には石川県のインキュベーション施設もございまして、来年度からは、そのような施設の活用もスムーズにいくような施策も展開してまいりたいと考えています。</p>
<p>中田教育文化部長</p>	<p>北陸信用金庫さんにおかれましては、新しくお建てになられた支店が北国街道にマッチしており、大変ありがたく思っております。市長も色々なところで紹介させていただいていると思いますが、北国街道につきましては、市の方ではまちづくりの基本構想の策定を進めています。年度内には構想を固めまして、来年度から具体的な北国街道の活用を進めるということで考えております。</p> <p>創業支援に関しましても、実際に1の1NONOICHIを利用された方が市外で創業されるという情報も掴んでおります。私どもとしては、できれば市内で創業していただきたいという思いを持っています。</p> <p>今後の展開といたしますと、北国街道の街並みは当然保存していきませんが、空いているところを活用して事業をしていただくような方を集められたら良いなという思いがございまして。これは市をあげて進めていかなければならないことだと思っております。それぞれのお立場でのご協力もいただいて、市の方もできる限りのバックアップをしたいと思っております。</p> <p>またスポーツ施設に関してですが、子どもさんが多いということで、色々な体育施設に対する要望等もございまして。今の体育館だけで用をなすのかという点に関して、長いスパンで様々に検討していかなければならないと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。</p>

藤田委員	<p>将来どういう管理方法をされるかわかりませんが、カレードのテナントが抜けたままで、先般募集がされておりました。今後、新たな方が入ってきていただけるんでしょうけども、慎重に吟味していただければと思います。</p>
中田教育文化部長	<p>カレードにおきましては、2月1日から28日まで、新しい店舗に関しての募集を行っております。その後こちらの方も色々と手を尽くしましたが、結果としては新しい方が見つからなかったということで募集をしております。せっかくのカレードという施設ですので、市民の皆様も、当然私ども気にしているところですので、もうしばらくお時間いただきたいと思います。</p>
富山氏 (小西委員代理)	<p>本日、委員の小西の代理で出席させていただいております富山と申します。</p> <p>先程、創業という点でのお話がございました。基本戦略1の施策1の2をみると、創業支援や事業承継についての記載がございます。事業承継というのは創業に加えて、かなり重要だと思います。今、少子高齢化進んでいる中で、地元の企業が廃業していくこともかなり多く、それは後継者がいないというケースがかなり多いと思っております。実際そういったところに、自分の息子や娘さんではなく、第三者の方が入って引継ぎされるようなケースも少しずつ増えていると感じております。そういった中で、もうそろそろ商売を辞めざるを得ないというような方々と、新しく創業されたいという方々をマッチングするような取り組みもされてはいかがかと思っております。</p> <p>また、Society5.0の実現に向けて、最先端設備の導入といった取り組みの記載がありますが、この中にはおそらく5Gですとか、そういった今後これから日本の企業だけではなく、まち自体を支えていく技術も入っているのではないかなと思います。金沢工業大学さんもいらっしゃいますので、そういった面も連携をしていただいて、市のため、企業のため、人のためになるようにつなげていければ良いのではないかと考えております。</p>
北企画振興部長	<p>まず1点目の事業承継については、市内でも現実的に、事業主が高齢</p>

<p>西村委員</p>	<p>化してお店を閉めていくという実態は出てきていると思います。本日、出席していただいている商工会様の方でもその辺の課題を感じていらっしゃるかと思いますので、ご意見いただければと思います。</p> <p>2点目の Society5.0 は世界的な流れですし、その1つとしてはAIの活用等、色々な機械を利用しながら、人の働き方も変わってくる時代だと思います。先般の会議にて、石川会長から、3月の中旬にAIに関する講座があると教えていただいたので、そういうものにも極力参加をして、色々と視野を広げながら、検討してまいりたいと思います。</p> <p>1の1NONOICHI、カミーノの方で創業支援の応援をしております。</p> <p>商工会の会員は、昔は1,000を超えていましたが、今は930程度まで減少しています。野々市市で商売をしていらっしゃった方がだんだんやめられて、残念に感じております。確かに創業支援も大事ですが、商売をされてきた方の応援も必要だと思います。野々市市には、大型ショッピングセンターや、ドラッグストアの進出が相次ぎ、なかなか昔から商売をされている方が立ち行かないのが現状です。その辺を、どうやって応援していこうかというのが商工会の課題となっています。</p> <p>北国街道も良い通りですが、残念なことに、空き家が大変増えてきました。郷土資料館や喜多家もありますし、北陸信用金庫さんも立派な建物をつくっておいでますが、歩いていても座る場所がない状況です。小さな公園やベンチなどが欲しいと思います。</p> <p>商工会も市とともに、良いまちづくりを進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それと最後にもう1つ、私もそうなんですが、大変元気なお年寄りの方がおいでて、さらに活躍していただく機会がないのかなと思っております。シルバー人材センターがありますが、その辺のPRや活法とかを充実したらいいと思います。この資料の書き方だと具体的ではないので、その辺もちょっとお願いしたいなと思っております。</p>
<p>北企画振興部長</p>	<p>まずシルバーの件でございますが、現在300～400人くらいの会員数になっております。石川県のシルバー連合会や各市町のシルバー人材センターで色々な施策に取り組んで、PRをしております。新聞の広告や、市のHPにて周知を図っておりますが、シルバーという言葉は知</p>

	<p>っているものの、詳細はわからないという実態があるというふうには感じております。</p> <p>その1つの要因には、一般の企業の方々の高齢者の雇用が増えていくということがあると思います。シルバー人材センターというのは生きがいを感じながら仕事をみんなでやろうという組織で、仕事だけに限らず様々なふれあいの活動もしています。</p> <p>今のシルバーの話は、私どもも関係していますので、追加でお話します。今、ハローワークを利用される方には、65歳以上の方もたくさんいらっしゃいます。特にパートの仕事を探される方の中で、65歳を超えている方もとても多い状況です。パートというジャンルでいうと、65歳を超えている方は2、3割いらっしゃるというような状況です。その方の中には、しっかりした仕事をしたいということで仕事を探している方もいますし、週に2、3回程度のシルバーのような形態で仕事をしたいという方もいらっしゃいます。</p> <p>シルバーの存在を、仕事を探している方にお伝えしたいということで、月に1度、野々市市と白山市市のシルバーの方がハローワークに出張相談をしに来てくださっています。年間の相談スケジュールを貼り出していると、人によっては1か月後の相談まで待てないので、ご自身で電話の上、相談に行かれるというようなシルバーに関心をお持ちの方もいらっしゃるのが現状です。</p>
<p>狩谷委員</p>	<p>今、ハローワークを利用される方には、65歳以上の方もたくさんいらっしゃいます。特にパートの仕事を探される方の中で、65歳を超えている方もとても多い状況です。パートというジャンルでいうと、65歳を超えている方は2、3割いらっしゃるというような状況です。その方の中には、しっかりした仕事をしたいということで仕事を探している方もいますし、週に2、3回程度のシルバーのような形態で仕事をしたいという方もいらっしゃいます。</p> <p>シルバーの存在を、仕事を探している方にお伝えしたいということで、月に1度、野々市市と白山市市のシルバーの方がハローワークに出張相談をしに来てくださっています。年間の相談スケジュールを貼り出していると、人によっては1か月後の相談まで待てないので、ご自身で電話の上、相談に行かれるというようなシルバーに関心をお持ちの方もいらっしゃるのが現状です。</p>
<p>石川会長</p>	<p>これでみなさんからのご意見を出していただいたことになりましたが、鶴翼の陣のように、戦略は大変幅広く分野を網羅しておりますので、漏れている内容は無いと思っております。逆に言うとそれを実行していくのは、大変なことでもありますが、着実に5年間で達成をしていただきたいと思っております。</p> <p>それでは本日、委員の皆様からいただきましたアイデアやご意見を踏まえて、この「第2期のいち創生総合戦略」に記載する事項について、本推進会議として承認することを確認したいと思います。</p> <p>承認をいただける方は、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p>

挙手全員により、本推進会議として承認いたします。

事務局より本会議での委員の皆様への御意見を踏まえた上で、明後日

2月19日から3月19日までパブリックコメントを実施すると聞いております。この期間に市民の方からご意見があった場合には、事務局にて意見を踏まえた計画の修正を行います。3月末に計画を策定する必要があることから、修正した内容については、改めて本会議を開催するのではなく、会長の私が修正内容の確認を行うかたちで、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。

それでは、この後の進行につきましては、事務局にお返しします。

事務局

本日は皆様から貴重なご意見ご提言をいただき、誠にありがとうございました。

最後に今後のスケジュールにつきまして、少しお伝えさせていただきます。本日皆様に配布させていただきました、「第2期ののいち創生総合戦略の策定に係るスケジュールについて」のA4サイズの資料をご覧ください。

先ほど会長からも説明がございましたが、本日の会議を受けまして、明後日19日よりパブリックコメントを実施いたします。市民の方からの御意見があれば、反映させた上で3月下旬に完成となります。完成次第、皆様へ送付させていただきますので、よろしく願いいたします。

これまで、委員の皆様におかれましては今年度、全3回にわたる会議に大変お忙しい中、ご参画いただき、誠にありがとうございました。

皆様とつくりあげた「第2期ののいち創生総合戦略」をもとに、私どもも選ばれるまちをめざし、「ののいちの創生」に向けて引き続き取り組みを進めてまいりたいと思っております。

それでは以上をもちまして、令和元年度第3回 野々市市創生総合戦略推進会議を終わらせていただきます。

委員の皆様、本日は長時間にわたり、ありがとうございました。